

瀬戸内海観光連携推進会議の取組

平成23年7月設置。5運輸局等の局長クラスの会議を持ち回りで毎年開催。中国運輸局が事務局。

瀬戸内海観光宣言 (H25. 6. 2)

①内外に向けた瀬戸内海の魅力発信（映像等）、②観光周遊モデルコースの設定・宣伝、③クルーズ客船の誘致促進、④観光旅行者受入地におけるおもてなし気運醸成 等

I 継続予定の取組と今後の予定（案）

| 項目 | 体制 | これまでの取組 | 今後の予定 |
|---|---|--|---|
| 1 映像等を用いた国内外魅力発信 (宣言①) | 中国運輸局が企画・費用負担 (Ⅲ②事業の一項目) 5運輸局等連携で情報発信 | 絶景、食、歴史・文化等についての映像（英・仏）を26年夏に作成（瀬戸内ブランド推進連合と連携） | HP掲載、旅行博（タイ旅行博 27.2）等で上映・配布（27年度も継続） |
| 2 観光周遊モデルコースの設定宣伝 (宣言②) | 中国運輸局が企画・費用負担 5運輸局等が、必要に応じて、目利き推薦、航路情報の収集 | 地域の旅行会社の目利きの協力を受けながら、25年度末に4コースを設定、ホームページ掲載等の情報発信を実施 | 旅行会社に加え、旅行メディアの目利きの協力を得ながらコース改善・情報発信（26年度実施） |
| 3 クルーズ客船誘致促進 (宣言③) 〔「寄港地マップ」の作成・掲載 港湾拡大〕 | 神戸運輸監理部が企画 5運輸局等が掲載港湾拡大を働きかけ近畿運輸局が情報発信（HP掲載） 中国運輸局も外船社情報発信に協力 | 瀬戸内海各港の岸壁規模、観光地、受入体制、自治体の窓口等を掲載した情報ツール「寄港地マップ」を作成 〔掲載港湾：21港（24年11月） 34港（26年1月）〕 | 情報の更新・外国船社への情報発信（26年度方策を検討、27年度実施） CDROM（掲載情報の英訳＋観光地等のHPリンク付け）の作成 クルーズ・シッピング・マイアミ（毎年3月）の活用を検討 |
| 4 クルーズセミナー・おもてなし実地研修 (宣言④) 〔クルーズ客船寄港時の体験メニュー整備、乗船客のおもてなし方法、通船の活用を含めた寄港等について、地域ノウハウ蓄積支援〕 | 神戸運輸監理部、開催地管轄の運輸局等が企画・実施 | 「ぱしふいっくびいなす」の鞆の浦寄港に合わせ、25年10月15日に寄港地向けセミナーを、16日に乗船客おもてなしの実地研修を開催 〔参加者：15日：71名、16日：49名、乗客：約380名〕 | 「飛鳥Ⅱ」の下関寄港に合わせ、26年11月17日に寄港地向けセミナーを、18日に乗船客おもてなしの実地研修を開催（27年度も継続） |
| 5 「せとうちサイクルーズPASS」の利用促進 | 中国運輸局が企画・実施 5運輸局等が管轄航路へ普及拡大 航路マップ発行費用は、中国旅客船協会、瀬戸内ブランド推進連合が分担 | サイクリング観光客を対象にフェリーの運賃を割引するパスを23年度に導入以降、発行実績が増加 〔23年度 7,424枚 25年度 13,608枚 26年度 月平均昨年度の1割増〕 | 外国人観光客の利用促進を図るため、英語の利用案内のHP掲載、英文パンフレット作成（26年度実施） |

II 新しい取組（案）

| 項目 | 体制 | 概要 |
|-----------------|---|--|
| 1 ボランティアガイド情報発信 | 中国、四国運輸局が企画・情報収集・費用負担（必要に応じ目利き推薦：5運輸局等） | 島々の観光ガイドの実態等を調査し、まとめ、情報発信（27年度） |
| 2 瀬戸内海の旅客船時刻表作り | 5運輸局等連携（現在「海の時刻表」は近畿運輸局・神戸運輸監理部が監修） | 「海の時刻表」に中・四国運輸局管轄地域を中心に瀬戸内海の航路情報掲載を検討（26・27年度） |

III 海外プロモーションの強化(案)

| これまでの取組（26年度V J 地方連携事業） | 体制 | 今後の取組（27年度V J 地方連携事業等） |
|--|--|---|
| 1 ①九州～関西広域インバウンド促進事業 (中国の旅行社・メディア招請、上海観光博覧会出展、旅行商品宣伝) ②瀬戸内広域情報発信事業 (タイ・仏の雑誌等メディア関係者招聘等) | 中国運輸局が費用負担・実施 広島・岡山・愛媛・兵庫の4県、北九州市と連携 各地でのアテンド：5運輸局等 近畿、中国、四国運輸局が費用負担・実施 瀬戸内ブランド推進連合と連携 | 中国・四国運輸局が中心になって、近畿・九州運輸局等と連携し、関西・九州の観光地と有機的に結合し、相乗効果を発揮するよう、ネットワーク化された骨太の広域観光ルート形成を促進（27年度以降） |

第2回 瀬戸内海観光連携推進会議

参考資料

平成26年10月31日

◆平成23年7月8日設立

平成24年の大河ドラマを契機に、瀬戸内の観光活性化について、運輸局間の広域連携を図っていくため、中国運輸局長の呼びかけにより、同局と神戸運輸監理部、四国運輸局のトップで構成する『「平清盛」瀬戸内連携推進会議』を設立。

◆平成23年11月14日（第2回開催）

新たに近畿運輸局、九州運輸局が加わり、地方運輸局の「西日本連携組織」として施策を推進。

主な取り組み

- 「平清盛」関連広報情報の収集・発信環境の構築（HPなど）
- 「平清盛」ゆかりの地相互PRの推進及び瀬戸内広域マップの作成
- 小型船を活用した瀬戸内広域クルーズのモニターツアー実施

～瀬戸内地域を舞台により広域かつ一体となって推進～

◆平成24年11月29日（第3回開催）

主な取り組み

- せとうちサイクルーズPASSの実施エリア広域拡大
- 九州～関西広域インバウンド促進事業（VJ事業）の実施
- クルーズ客船による瀬戸内広域クルーズの誘致・瀬戸内クルーズシンポジウム in 神戸共催
- 瀬戸内クルーズ推進セミナー開催
- 寄港地紹介マップによる情報発信



◆平成25年6月2日（第1回開催）

平成24年末をもって大河ドラマの放映終了に伴い、観光振興の活性化に向けた取り組みを継続するため、会議の名称を**瀬戸内海観光連携推進会議**に変更。引き続き、瀬戸内海の観光振興を図るため、観光宣言を採択。

主な取り組み

- 瀬戸内海モデルコース構築調査事業
- せとうちサイクルーズPASSの認知度向上及び発行地域の拡大
- クルーズおもてなし実地研修
- 寄港地データ情報の拡大及び発信



◆平成26年10月31日（第2回開催）

主な取り組み

- 映像を用いた国内外に向けた瀬戸内海の魅力発信
- クルーズおもてなし実地研修
- ボランティアガイドの調査・PR
- 瀬戸内海モデルコースの評価・検証・発信
- せとうちサイクルーズPASSの利用促進



「瀬戸内海観光連携推進会議」は、瀬戸内海が古来より我が国の歴史・文化・産業の発展を育み、また、瀬戸内海の有する風光明媚な景勝地や島々、趣ある町並みや郷土料理が、大きな観光資源となり得るものと認識、瀬戸内海の良質な観光資源を活かした観光の振興が、魅力ある地域づくり、地域経済の活性化、ひいては我が国の発展や生活の向上に繋がると考える。瀬戸内海は日本最初の国立公園として指定を受け、来年は80周年を迎える中、今後も関係行政機関、交通・観光事業者等関係の方々との連携しながら、以下の取り組みを行う。

- 映像等を用いた国内外に向けた瀬戸内海の魅力発信
- 歴史・文化等を活用した瀬戸内の島の魅力の磨き上げ
- 既存航路の活性化及びこれらの航路を活用した観光周遊モデルコースの設定及び広報宣伝
- 大型クルーズ船による、近畿から九州エリアに立ち寄る瀬戸内広域クルーズの誘致
- 観光旅行者受入地におけるおもてなし気運の醸成

平成25年6月2日

瀬戸内海観光連携推進会議

瀬戸内海観光宣言に即したこれまでの取り組み

映像等を用いた国内外に向けた瀬戸内海の魅力発信

- 瀬戸内海の「自然」「多島美」を中心とした選りすぐりの「絶景」に「食」「歴史」「文化」を加えた海外向け（英語、仏語）の映像を、瀬戸内ブランド推進連合（兵庫、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛）と連携して26年夏に作成。



既存航路の活性化及びこれらの航路を活用した観光周遊モデルコースの設定及び広報宣伝

- 瀬戸内海の既存定期航路を活用した新たな滞在型周遊観光ルートとして、4つのモデルコースを25年度に策定し、26年7月にホームページに掲載する等の情報発信を実施。



大型クルーズ船による、近畿から九州エリアに立ち寄る瀬戸内広域クルーズの誘致

- 瀬戸内海の各港に、クルーズ客船寄港を誘致する一助として、船社向けに瀬戸内海34港の岸壁規模、観光地、受入体制、自治体の窓口等を紹介する情報ツールを作成し、掲載港湾を拡大。



観光旅行者受入地におけるおもてなし気運の醸成

- 瀬戸内海へのクルーズ客船寄港に際し、魅力的な体験メニューの整備、乗船客のおもてなし方法、通船の活用を含めた寄港等について、地域のノウハウ蓄積を促進するため、船社と自治体の意見交換を、25年10月に、鞆の浦で開催。引き続き、26年11月に 下関で開催予定。



1. 映像等を用いた国内外に向けた瀬戸内海の魅力発信

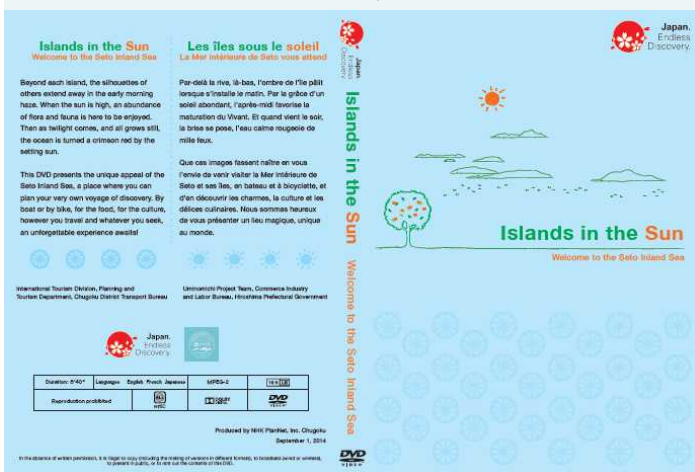
I 継続

瀬戸内海の絶景等の魅力を内外に効果的に発信するには、映像によることが非常に重要であるとの認識に立ち、26年夏に、瀬戸内ブランド推進連合と連携して、映像を作成。今後、インターネット、商談会等の機会を活用して情報発信していく予定（27年度も継続）。

瀬戸内海



DVDパッケージ



26年は、こうした多様な観光資源を題材とした欧米向け（英、仏版）プロモーション映像を瀬戸内ブランド推進連合と連携して制作。

今後は、インターネット等で情報発信する事で瀬戸内の認知度を高めるとともに、訪日旅行者の誘客促進を図っていく。

- ・ホームページ等Webサイト
- ・イベント時での上映や配布
(10月末: 刈・フランス旅博及び27年2月刈旅行博にて上映、配布)
- ・商談会でのプレゼンテーション 等



2. 公共交通を活用した観光周遊モデルコースの設定及び広報宣伝

I 継続

国内旅行の需要拡大や地域経済の活性化を図るため、定期航路等を利用した島々の見所（歴史、文化、景観、祭、食等）を巡る滞在型周遊観光モデルコースを25年度に策定、26年7月にHP掲載等の情報発信を実施。

〔コース概要〕

1. 姫路駅・岡山駅から小豆島・直島・豊島のアートを巡る『瀬戸内アート新発見コース』
2. 福山駅から鞆の浦・尾道・大久野島を巡る『移動も楽しい！瀬戸内癒されコース』
3. 広島空港から大崎上島・大崎下島・大三島を巡る『瀬戸内“心のふるさと”を発見する旅』
4. 広島駅から高速バスを利用して大崎下島・大三島・三原・因島・大島を巡る『しまたび満喫！コース』

課題

PR

- ・HPでの情報発信
- ・イベント（バスまつり、帆船フェスタ、ふくやま港まつり）でのPR
- ・瀬戸内ブランド推進連合を通じて首都圏にて情報発信



バスまつりでの展示風景



コース紹介カード（名刺サイズ）

しかし、コースによっては、費用、時間、利便性等の課題がみられるため、旅行者目線の意見を広く取り入れながら、大都市からの誘客に繋がるように、コースを磨き上げていく。

検

討

発信

効果

ワーキング
グループ

旅行会社

旅行メディア



旅客船協会
瀬戸内ブランド推進連合
海の路ネットワーク
運輸局 等



評価・検証

コース改善
情報発信方法
の決定

モニター
ツアー

磨き
上げ



SNS等

- ・誘客促進
- ・需要拡大
- ・地域経済の活性化



中国運輸局が26年度事業費を活用して実施
（必要に応じ、5局等で目利きを推薦）

3. クルーズ船誘致の促進①～「寄港地マップ」の概要～

I 継続(改訂)

瀬戸内クルーズ寄港地紹介

※「平清盛」瀬戸内連携推進会議 実施調査による

神戸港 ～瀬戸内クルーズの玄関港～
セールスポイント: あらゆる客船に対応可能な充実したターミナル施設
市街地や主要な観光スポット、空港への優れたアクセス

(注) ※印のある項目の情報については確認したい船社様は、運輸局または神戸運輸監視部までお問い合わせください。
お問い合わせ先については「平清盛」瀬戸内連携推進会議HP(近畿運輸局HP内)をご確認ください。

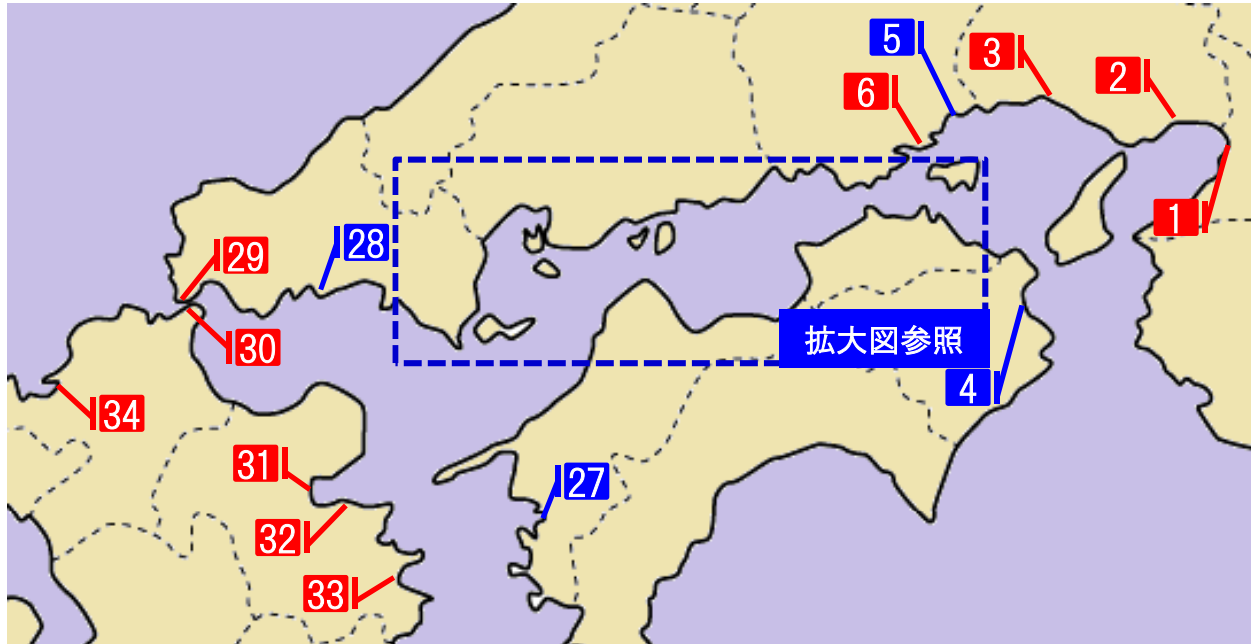
| | | | |
|---|---------------------|-----------------------|---|
| 1 | 地域の概要 | 人口(島のみ) | |
| | | 主な産業 | |
| | | 岸壁の規模(接岸可能な船舶の最大総トン数) | 神戸ポートターミナル:約15万トンクラス、中突旅客ターミナル:5万トンクラス |
| | | 上陸に対応できる通船(台船)の有無 | あり(紹介も可) ・ なし |
| 2 | おもてなしの窓口(観光・歓迎行事等) | 組織名 | 神戸市みなと総局振興課 |
| | | 住所 | 神戸市中央区加納町6-5-1 |
| | | 担当部署 | みなと総局振興課 |
| | | 連絡先(電話、電子メール) | 078-322-5670 |
| 3 | 入港に係る相談窓口(入港料等の窓口) | 組織名 | 神戸市みなと総局振興課 |
| | | 住所 | 神戸市中央区加納町6-5-1 |
| | | 担当部署 | みなと総局振興課 |
| | | 連絡先(電話、電子メール) | 078-322-5670 |
| | 入港に係る相談窓口(漁協との調整窓口) | 組織名 | — |
| | | 住所 | — |
| | | 担当部署 | — |
| | | 連絡先(電話、電子メール) | — |
| 4 | ご当地自慢(自然中心) | 最大の自慢は | (通年) 六甲山・摩耶山と1千万ドルの夜景(日本三大夜景)、神戸ビーフ、山・街・海のコンパクトなロケーション (春) (夏) (秋) (冬) 神戸ルミナリエ、イルミネーション、夜景、有馬温泉 |
| | | 景観(花、紅葉等を含む) | (春) 桜(王子動物園、須磨など) (夏) あじさい(六甲山、森林植物園など) (秋) 紅葉(有馬、六甲山、須磨など) (冬) 神戸ルミナリエ |
| | | 食(料理・食材) | 神戸ビーフ 洋食 中華、インド等、豊富な種類のエスニック料理 神戸スイーツ パン 灘の酒、神戸ワイン 神戸ウォーター |

| | | | | | |
|---------------|-----------------|-----------------------------------|--|-----------|------|
| 5 | ご当地自慢(文化、歴史中心) | 文化・芸能 | (春) 4月下旬～5月上旬インフィオラータこうべ(花びらで制作した巨大花絵) (夏) (秋) 神戸ビエンナーレ2013(2年に1回開催)、神戸ジャズストリート (冬) | | |
| | | お祭り・花火 | (春) 神戸まつり、南京町春節祭 (夏) みなと神戸海上花火大会、サンバフェスタKOBE (秋) 南京町中秋節、KOBE観光の日、KOBE観光ウィーク (冬) 神戸ルミナリエ | | |
| | | 体験型観光メニュー | (春) 明石海峡大橋ブリッジワールド、六甲山牧場(チーズ作り、アイスクリーム作りなど) (夏) 六甲山牧場(チーズ作り、アイスクリーム作りなど)、ブリッジワールド (秋) 六甲山牧場(チーズ作り、アイスクリーム作りなど)、ブリッジワールド (冬) 六甲山牧場(チーズ作り、アイスクリーム作りなど)、ホールアース自然学校(ナイトハイク) | | |
| | | 観光施設 | 市内多数あり | | |
| 6 | おもてなし(歓迎行事) | 産業観光 | 酒蔵見学、明石海峡大橋(翼子海上プロムナード、橋の科学館)、北野工場のまち など | | |
| | | 町歩き | 北野異人館街・旧居留地・南京町(中華街)・メリケンパーク、兵庫(平清盛史跡) | | |
| | | 入港歓迎行事の有無・内容 | あり()なし <input type="checkbox"/> 応相談 | | |
| | | お見送り行事の有無・内容 | あり()なし <input type="checkbox"/> 応相談 | | |
| | | その他自慢のおもてなし | — | | |
| | | 地元との触れ合いイベントの有無 | — | | |
| | | 観光ガイド手配の可否 | (日本語) 可 ・ 否 ※ターミナル内において観光案内 (英語) 可 ・ 否 ※ターミナル内において観光案内所開設 | | |
| | | おもてなしに協力いただける幼稚園・小学校の校数、児童・生徒の人数 | 幼稚園: 校 人 小学校: 校 人 中学校: 校 人 <input type="checkbox"/> 応相談 | | |
| | | 7 | 受入体制等 | 受入可能な最大人数 | 特になし |
| | | | | 宿泊施設 | 多数あり |
| 料飲施設 | 多数あり | | | | |
| 地域交通 | 飛行機・電車・バス・ループバス | | | | |
| 沖停泊に係る対応海上保安部 | — | | | | |
| 沖停泊に係る漁協 | — | | | | |
| 8 | クルーズ船への対応 | 外国人対応への配慮 | あり(臨時観光案内所、両替所開設) | | |
| | | 船内での観光案内・講演(文化・歴史・自然)、芸能披露、文化体験教室 | 応相談(船内観光案内) | | |
| | | 地元ゆかりの芸能・文化人の紹介 | — | | |
| | | 本船への食材提供・業者紹介 | 応相談 | | |
| 船内・岸壁での物産販売 | 応相談 | | | | |

3. クルーズ船誘致の促進②～「寄港地マップ」掲載港湾の拡大～

I 継続(改訂)

※青マーカーはH26年1月追加分



※青字はH26年1月追加分

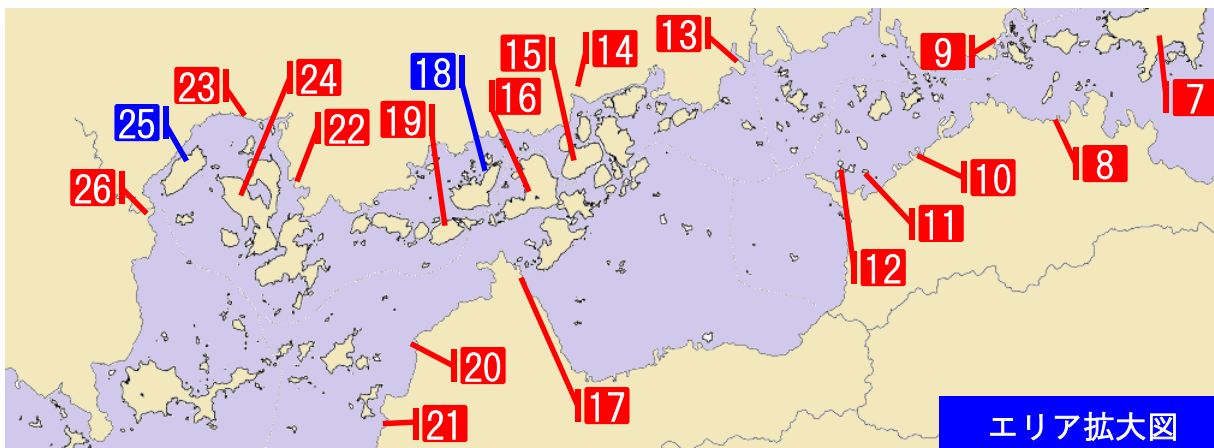
| N | 地域・港の名称 |
|----|-----------|
| 1 | 大阪港 |
| 2 | 神戸港 |
| 3 | 姫路港 |
| 4 | 徳島小松島港 |
| 5 | 備前市日生港 |
| 6 | 牛窓港 |
| 7 | 香川県小豆島町 |
| 8 | 高松港 |
| 9 | 宇野港 |
| 10 | 丸亀港 |
| 11 | 三豊市 志々島 |
| 12 | 三豊市 粟島 |
| 13 | 福山港, 鞆の浦 |
| 14 | 尾道糸崎港 |
| 15 | 生口島 |
| 16 | 大三島 |
| 17 | 今治港(蔵敷地区) |
| 18 | 広島県大崎上島町 |
| 19 | 大崎下島 |
| 20 | 北条鹿島 |

| N | 地域・港の名称 |
|----|-----------|
| 21 | 松山港 |
| 22 | 呉市川原石港 |
| 23 | 広島港 |
| 24 | 江田島・能美島 |
| 25 | 廿日市市 宮島 |
| 26 | 岩国港 |
| 27 | 宇和島港 |
| 28 | 三田尻中関港 |
| 29 | 下関市(関門海峡) |
| 30 | 門司(北九州港) |
| 31 | 別府国際観光港 |
| 32 | 大分港 |
| 33 | 佐伯港 |
| 34 | 博多港 |

掲載港湾数

24年11月：21港
(HP掲載開始)

24年12月：28港
26年1月：34港



3. クルーズ船誘致の促進③～「寄港地マップ」の外船社への売込み～

I 継続(改訂)

「寄港地マップ」とは、瀬戸内海各港へのクルーズ客船寄港の一助として、船社向けに、各港の岸壁規模、観光地、受け入れ体制、自治体の相談窓口等を紹介する情報ツール。平成24年11月のHP掲載以降、掲載港湾数を拡大。引き続き対象港湾数の増加・情報更新を進め、また、来年度以降、外国船社向けに情報発信ができるよう、準備を進める。

Cruise Port Guide of Japan (港湾局：26年3月11日～)

→ 寄港地からアクセス可能な
観光スポットを掲載



CRUISE PORT GUIDE OF JAPAN
- 各港の観光インフォメーション -
<http://www.mlit.go.jp/kankocho/cruise/jp/>

国内外のクルーズ船社に寄港地からアクセスできる観光スポット情報を提供
～日本全国72の港湾とその周辺の観光スポットに関する専用ホームページを開発しました～

CRUISE PORT GUIDE OF JAPAN
各港の観光インフォメーション

「グルメ」「ショッピング」「イベント」「トピックス」のカテゴリー別に
近隣の観光情報をご覧いただくことができます。

各港の情報掲載ページ

CRUISE PORT GUIDE OF JAPANの機能

- (1) 寄港地から観光スポットへのアクセスを“知る”
クルーズ船を降りてから、アクセス可能な寄港地周辺のグルメやショッピングスポットなどを紹介します。
- (2) 魅力ある寄港地を“探す”
日本全国の港を地図から探せるだけでなく、世界遺産が近い港、都市近郊にある港、季節のイベントが開催されている港を探すことができます。
- (3) 寄港地の情報について“問い合わせる”
ご提供する情報には、寄港地や観光スポットの連絡先を掲載しています。気になる情報は、すぐにお問い合わせいただけます。また、寄港地の港湾施設の情報も簡単に入手できます。

感動の日本クルーズへ
四季折々の魅力あふれる港をお待ちしています
CRUISE PORT GUIDE OF JAPAN
<http://www.mlit.go.jp/kankocho/cruise/jp/>

日本語・英語対応

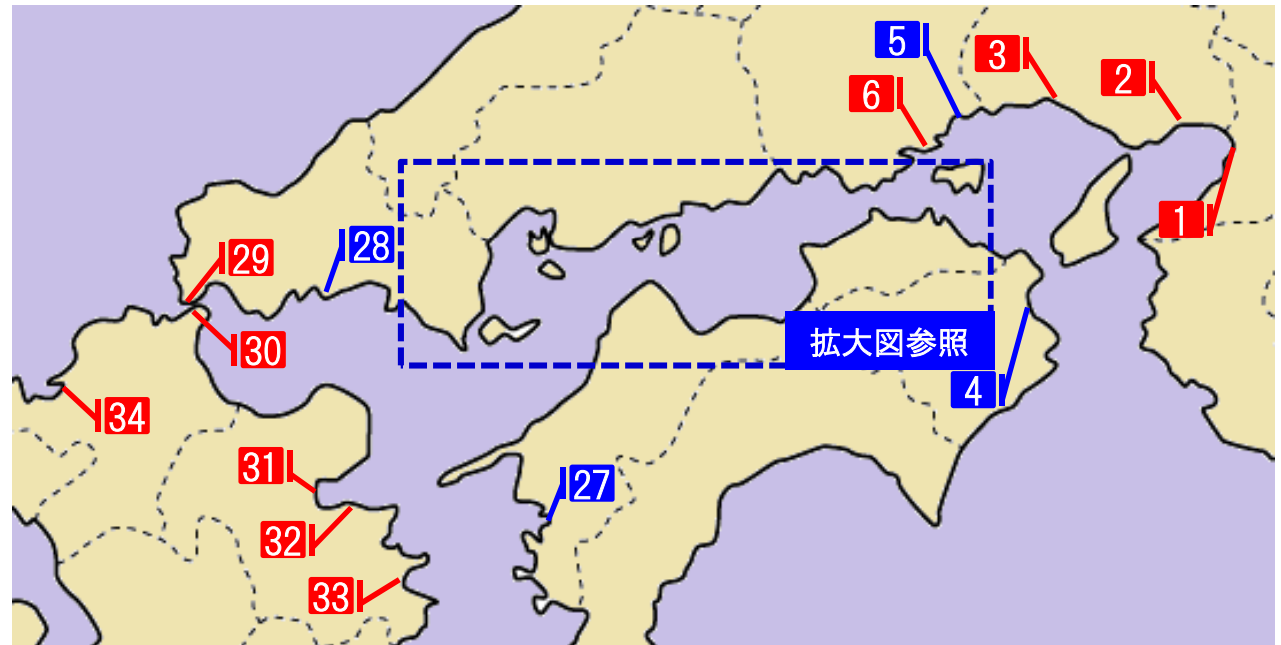
お問い合わせ先
国土交通省港湾局産業港湾課
TEL +81-3-5253-8678 E-MAIL cruisecontact@mlit.go.jp
観光庁 日本ブランド発信 外客誘致担当
TEL +81-3-5253-8922 E-MAIL kankocho@mlit.go.jp

クルーズ・ SHIPPING・マイアミ（毎年3月）で
外船社に情報提供
掲載港湾：瀬戸内海エリアでは16港湾

「寄港地マップ」

(瀬戸内海観光連携推進会議：24年度～)

→ 港湾情報、観光地の概要、受入対象、相談窓口等を紹介



外船社への情報提供は未着手 掲載港湾：34港湾

<今後の取組> 神戸運輸監理部が5局等と連携して実施

26年度

掲載情報の英訳 + 観光地・イベントの英語HPへのリンク付け
→ CD-ROM化した試作品を作成

中国運輸局協力

情報発信方法（情報提供する会議等）の検討

27年度

外船社への宣伝

外船社のクルーズ客船の
誘致促進

4. 瀬戸内クルーズセミナー・おもてなし実地研修

I 継続

「クルーズセミナー・おもてなし実地研修」は、瀬戸内海への大型クルーズ客船寄港に際し、通船の活用、魅力的な体験メニューの整備、乗客の歓迎方法等について、地域のノウハウ蓄積を促進することが目的。25年10月15・16日（「ぱしふいっくびいなす」の鞆の浦寄港に合わせ開催）に引き続き、26年度も以下の予定で実施予定。27年度も継続予定。

瀬戸内クルーズセミナー

神戸運輸監理部、開催地管轄の運輸局等が企画・実施

◇日時 平成26年11月17日（月）13:30～17:45

◇場所 海峡メッセ下関・国際会議場

◇出席（予定）者 約70～80名

- 【第一部】 講演 ①「クルーズ船誘致に向けた山口県の取り組み」
山口県 産業戦略部 小玉次長
②「飛鳥クルーズと寄港地への要望」
郵船クルーズ株式会社 村山運航部長代理
パネリスト 「クルーズ誘致のための『おもてなし』」
登壇者 クルーズ船社、自治体、運輸局 等
- 【第二部】 クルーズ船社と自治体等との個別相談会
参加者 クルーズ船社、自治体 等



クルーズおもてなし実地研修

◇日時 平成26年11月18日（火） 12:40～15:00

◇場所 下関港 あるかぼーと岸壁

◇出席（予定）者 約50名

【研修概要】

- ・飛鳥Ⅱ入港見学
- ・物産展、オプションツアー出発状況等見学
- ・おもてなし行事、現地ツアー等に係る意見交換（船内）
（参加者：クルーズ船社、自治体、運輸局 等）
- ・船内見学

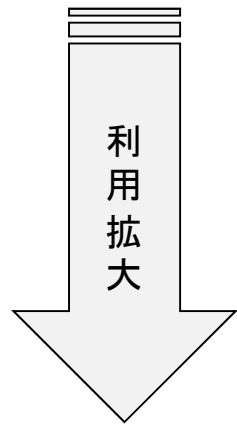


5. 「せとうちサイクルーズP A S S」の外国人利用促進

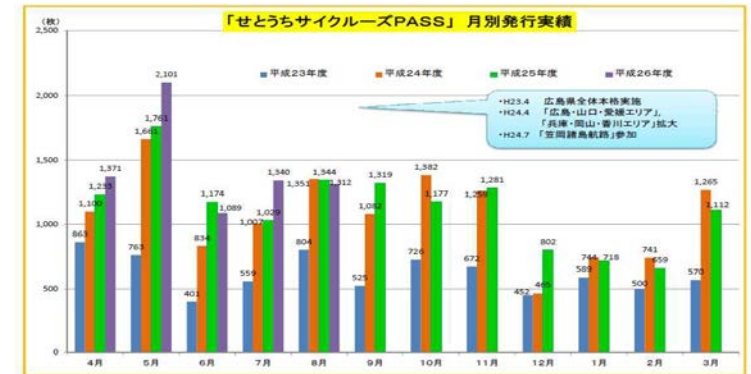
I 継続(改訂)

自転車観光客を対象にフェリー等の運賃割引をする「せとうちサイクルーズPASS」は、23年度の導入以降発行実績が着実に増加。瀬戸内海のサイクリングは、今後、外国人にとって人気が高まると思われ、「せとうちサイクルーズPASS」の外国人ニーズも高まると思われる。このため、今後は、外国人向け利用案内（英語）を作り、HP掲載するなど、情報発信し、外国人利用を促進する。

平成23年度の導入以来、「せとうちサイクルーズP A S S」の発行実績は毎年着実に増加。



| 年 度 | 発行実績 |
|------------------|---------|
| 平成23年度 | 7,424枚 |
| 平成24年度 | 12,891枚 |
| 平成25年度 | 13,608枚 |
| 平成26年度 (4~8月) | 7,213枚 |



平成26年8月末までの発行枚数は、4月、5月及び7月において対前年に比べ1~3割の利用増。今年8月末までの月平均発行枚数は1,443枚で、昨年同月(1,308枚)に比べ約1割増。

外国人への利用促進

英語版マップの作成
(QRコードを掲載)

レンタサイクル場、利用可能航路の情報更新、協賛店の拡大

外国人向け
利用案内の紹介

(利用方法やよくあるQ & Aを抽出し英訳)

※パス発行実績の約9割を占めるしまなみ海道、とびしま海道、広島エリアを対象

外国人サイクリング観光客の
旅客船利用促進と
地域の活性化の推進



CNN Travelがしまなみ海道を「世界で最も美しい7つのサイクリングコース」として認定。瀬戸内自転車観光の外国の認知度が向上。



6. 瀬戸内海における観光ボランティアガイドの情報発信

II 新規

観光客が瀬戸内海の島々を訪問する場合、現地ボランティアガイドを活用して頂くことで、地域の歴史、文化、自然により深く触れてもらい、より楽しんで頂けると考えられる。このため、外国人対応を含め、瀬戸内海の島々を中心に、観光ガイドの実態を調査し、まとめ、情報発信を図っていく。

1. 先行事例

香川せとうちアート観光圏

圏内14カ所のボランティアガイドの売り、見所、窓口、料金等を案内



3. 今後

中国・四国運輸局が企画、情報収集、27年度事業費を活用

県・市観光連盟を通じ本格調査

対象の絞り込み
観光客数
観光地の知名度
ガイドの中味 等

情報発信方法の検討
ガイドの売り
一押し観光地 等

ガイドを活用した
楽しい旅

2. 試行的な情報収集

広島・岡山・山口3県
12団体を調査 (26年8月)



＜主な観光ボランティアガイド (イメージ)＞

旅行会社



旅行メディア

旅客船協会
瀬戸内ブランド推進連合
海の路ネットワーク
運輸局 等



目的

関西は、大阪湾をはじめとした世界有数の海上交通の要所であり、数多くの重要な航路が設定され、九州・四国・沖縄・東北・北海道、遠くは中国・韓国との人的、物的交流に重要な役割を果たしてきた。

「海の時刻表」は、多くの人々にこれらの航路の存在を知っていただき、一元的な運航情報の提供によって、旅客船を更に利用しやすい交通機関とすることを目的としている。

概要



平成26年7月号

【内容】

◆ 関西を発着するフェリー、旅客船等の航路、ダイヤ、乗り場、運賃、船舶概要等の情報を掲載

【発行】

- ◆ 年2回（1月、7月） 作成部数 30,000冊
- ◆ 平成元年7月に第1版を創刊し、現在までに49版を発行
- ◆ 次号の平成27年1月号（12月末に納品）は、第50版記念号として発行（約100ページ）

【広告料】

- ◆ B6サイズ、フルカラー広告
- ◆ 中広告1ページ 50,000円

【編集】 関西旅客船情報センター（近畿旅客船協会内）

【監修】 近畿運輸局、神戸運輸監理部

主な配布先

各船社旅客ターミナル等、旅行代理店、JAF及び加盟店舗、関西国際空港、大阪市中央区、大阪市交通局、北海道・東北・四国・九州・沖縄各県大阪事務所、大阪南港ATC、海遊館など

26年度予算

- 費用 200万円×2回 → 合計4,000千円
- 収入 会費 事業者27者 2,325千円
- 広告 5者 950千円 合計3,275千円

提案

現行「海の時刻表」に中国・四国運輸局管轄地域を中心とした瀬戸内海の航路の情報を掲載したらどうか？

8. 外国人に対する誘客の促進①～これまで～

Ⅲ 海外プロモーションの強化

九州～関西広域インバウンド促進事業 (西日本広域観光推進事業)

ビジットジャパン地方連携事業

中国運輸局・九州運輸局・四国運輸局・近畿運輸局・神戸運輸監理部
広島県・岡山県・北九州市・愛媛県・兵庫県が連携

中国人訪日旅行のメインルート（東京～大阪ゴールデンルート）に続く新たなルートを形成するため、福岡・関西の両空港を発着して瀬戸内を巡る広域観光ルートについて、ルートの魅力発信、高品質な旅行商品開発を図り、また、上海世界観光博覧会（WTF）に出展することにより、ルートの知名度の向上及び外国人旅行者の誘客を図る。

平成25年度事業

◆旅行社・テレビ局の招請

テレビ放映

商品造成



◆旅行商品の広告宣伝



旅行社カタログ

新聞広告

平成26年度事業

◆上海・広州からの有力旅行社の招請

福岡空港～瀬戸内～関西空港の広域観光ルートを視察。瀬戸内観光ルートのブランド化に適した商品の造成・販売を図るため、上海・広州の有力旅行者の招請ツアーを実施（H26. 6. 22～6. 28）

◆メディア関係者及びブロガー等の招請

福岡空港～瀬戸内～関西空港の広域観光ルートを取材し、瀬戸内観光ルートの魅力を情報発信するため上海・広州のメディア関係者（新聞等）やブロガー等の招請ツアーを実施（H26. 7. 13～7. 19）

◆2014上海世界観光博覧会（WTF）に出展

ルートの知名度を向上させるため出展（H26. 5. 9～5. 11）

◆販売旅行商品に関する広告宣伝

販売する旅行商品を新聞等に掲載し、旅行社との共同広告を実施



8. 外国人に対する誘客の促進②～これまで～

Ⅲ 海外プロモーションの強化

瀬戸内7県ブランド化推進事業（タイ・フランス向け情報発信）

ビジットジャパン地方連携事業

近畿・中国・四国運輸局と瀬戸内ブランド推進連合が連携

瀬戸内ブランド推進連合と連携し、瀬戸内の有望な観光素材（歴史・文化、現代アート、クルージング、サイクリング、食等）を効果的・効率的に情報発信し「瀬戸内」をブランド化するため、タイ及びフランスの情報発信力の強いキーパーソン（著名人）及びメディア関係者を招請し、「瀬戸内」の認知度を高めるとともに、当該地域からの訪日旅行需要を喚起し、外国人旅行者の誘客促進を図る。

タイ／キーパーソン＋有力なカルチャー雑誌社（山口・岡山・兵庫）



キーパーソン・・・タイ料理界に影響を持つタイシェフズ協会関係者

【スラット・ゲーオディー氏：タイシェフズ協会（ザ・グランド・フォーウイングス・コンベンションホテル・バンコク総支配人）】

タイ／キーパーソン＋有力な旅行雑誌社（広島・愛媛・香川・徳島）



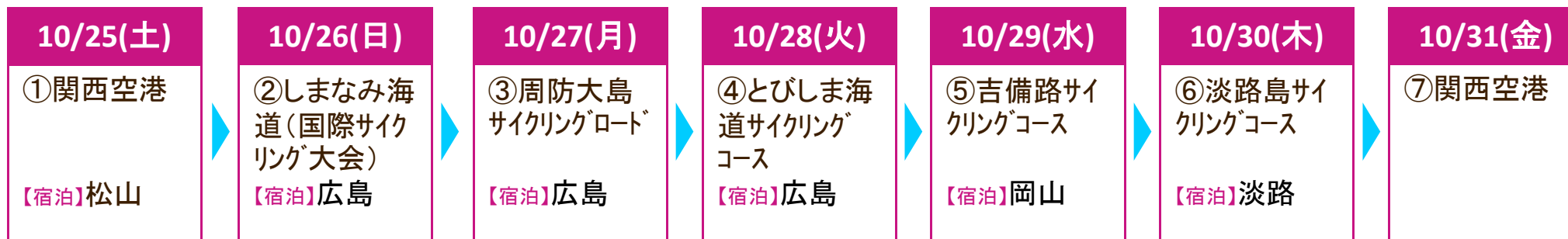
キーパーソン・・・タイ現地で音楽活動を継続し知名度のある日本人タレントとして影響力を持つ人物

【KAZUMI氏：「Thai-Japan Anime and Music Festival」2012-2014 3年連続出演】

8. 外国人に対する誘客の促進③～これまで～

Ⅲ 海外プロモーションの強化

フランス／キーパーソン＋有力なサイクリング雑誌社（愛媛・山口・広島・岡山・兵庫）



キーパーソン・・・フランス（アルザス地方）のサイクリングプロモーション組織関係者（元観光行政関係者）
【クリスチャン・フレイト氏：フランス バラン観光開発機構サイクリング部サイクリング協会（30日）】

フランス／キーパーソン＋有力な旅行雑誌社（兵庫・徳島・香川）



キーパーソン・・・フランス（アルザス地方）のサイクリングプロモーション組織関係者（元観光行政関係者）
【クリスチャン・フレイト氏：フランス バラン観光開発機構サイクリング部サイクリング協会(31日～)】